海を越えてひろがる交流の輪

Public Information

広報 vol.10

2001.3

KAKOGAWA INTERNATIONAL ASSOCIATION

財団法人 加古川市国際交流協会

CONTENTS

2000年国際交流レビュー	2
国際交流センター開館記念式典	5
I LOVE KAKOGAWA 在住外国人紹介のページ	7
インフォメーション	8

加古川市国際交流センター

4月 外国人のための日本語講座開講 (4/13～翌3／15)

約40名の外国人が国際交流センターで、登録ボランティアの指導により、日本語を学んでいます。初級２クラスと中級１クラスがあり、毎週木曜日の夜実施しています。

<一年間お世話になるボランティアの先生方>

5月 語学講座開講 (5/30～10/7)

今年度からはじめての外国語講座がはじまりました。全15回ではじめて学ぶ方のためのポルトガル語、ハングル、フリートーキングが中心の英会話上級の３講座。
講座が終了してからも、皆さん引き続き自主グループで活動されています。

<ポルトガル語講座>

6月 加古川市制50周年記念式典に海外からの訪問団 (6/9～6/14)

６月10日（土）市民会館で開催された、「加古川市制50周年記念式典」と翌日実施された「加古川市国際交流センター開館記念式典」に出席のため、姉妹都市ブラジル・マリンガ市、ニュージーランド・ワイタケレ市、友好都市中国・桂林市より合計50名が加古川市を訪問されました。訪問団は、市内の施設見学や、淡路花博の見学など短い滞在を心から楽しまれました。また、式典後には「民族芸能フェスティバル」が開催され、ワイタケレ市のマオリ・ダンスチームが出演。力強いダンスを披露してくれました。

<迫力のマオリダンス>

このたびは、３ヵ国それぞれの言葉が異なるため、語学が堪能な当協会の登録ボランティアの皆様に、通訳としてご活躍いただきました。

6月 国際交流センターオープン (6/11)

加古川市の国際交流の拠点となる加古川国際交流センターがオープンしました。

午前10時からの開館式典には、姉妹・友好都市の訪問団50名のほか、加古川市長、市議会議長をはじめ、関係者の方々約200名が記念すべきこの式典に参加しました。2階、3階には姉妹・友好都市の写真90点が展示され、また4階和室では、着物で抹茶の接待が行われました。お手前は国際交流協会のボランティアによるもので、外国からのお客様も大喜びでした。

〈抹茶を楽しむマリンガ市の訪問団〉

7月 ふれあいティータイム (7/5)

今回のゲストは、メキシコ出身の石上・ブランカさん。日本人男性と結婚されてからの日本での生活、ふるさとの文化や習慣などを、流暢な日本語で紹介していただきました。また、メキシコのユニークな民族衣装や、お料理の話で盛り上がりました。

<おなじみ"ソンブレロ"をかぶって>

8月 第8回加古川市青年海外派遣 (8/12～8/22)

女性ばかりの派遣生がブラジルを訪問しました。約24時間のフライトに疲れることなく、現地ではリオデジャネイロ見学、姉妹都市マリンガ市でのホームステイ、イグアスの滝やサンパウロ見学など元気一杯でスケジュールをこなし、無事帰国しました。

この事業は、加古川市在住で18歳から30歳の方ならどなたでも応募できますので、我こそはと思われるあなた、次回のご応募をお待ちしております。

<世界遺産イグアスの滝をバックに>

8月 第10回加古川市中学生海外派遣 (8/10～8/21)

市内の各中学校を代表して、13名の派遣生が今年もニュージーランドを訪問し、姉妹都市ワイタケレ市でのホームステイをはじめ、オークランド博物館やケリータールトン水族館の訪問、オークランド湾クルーズなど、数多くの新たな体験をしました。

今年は、ロトルア一泊旅行も計画され、国鳥のキウイの森やファームショー見学など、ニュージーランドならではの自然にふれ合うこともできました。

<グリーンベイハイスクールにて>

9月 第9回ふれあい国際料理講座 (9/1～10/28)

今年で9回目を迎えた、秋恒例の事業。中国・ブラジル・メキシコ・インド・ウクライナの手軽な家庭料理を学びました。

インド料理ではスパイスをふんだんに使ったチキンカレーと、プレーンヨーグルトを入れて発酵させた、本場“ナン”の作り方を学びました。“ナン”のユニークな焼き方の実演に、参加者から思わず歓声があがりました。

<沈さんの中国料理講座>

11月 国際協力写真展&セミナー (11/30～12/6)

開発途上国をとりまくさまざまな問題への理解を深めてもらおうと、フォトジャーナリストがミャンマー、エルサルバドル等で撮影した写真展を開催しました。また、12月2日には、アジア難民事業本部職員による、“難民”問題についてのわかりやすいセミナーを実施しました。

<講師の中尾氏によるセミナー>

1月 マリンガ市青年加古川市訪問 (1/18～1/22)

大竹団長と５名のマリンガ市青年が来日し、４日間加古川市に滞在しました。

派遣生は、以前協会からマリンガ市に派遣された青年宅にホームステイし、ひとときの交流を深めました。滞在中は、市内の施設見学をしたり、姫路城や神戸を訪れました。

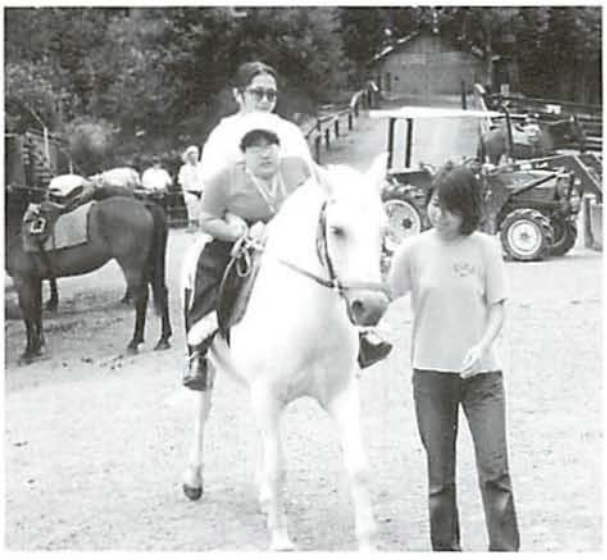
<国宝･鶴林寺を訪問>

2月 第9回加古川市障害者海外派遣 (2/8～2/15)

今年も、９名の派遣生が英会話やテーブルマナー、ホテルでの宿泊研修など、４回の事前研修を終え、ニュージーランドへ出発しました。

姉妹都市ワイタケレ市では、現地の人々と交流したり、乗馬セラピーやカヌー体験、牧場見学など、自然の豊かなニュージーランドならではの体験もしました。

１週間親元を離れ、貴重な思い出を胸に無事帰国しました。



<初めての乗馬に挑戦>

3月 第7回市民国際交流講演会 (3/3)

恒例の市民国際交流講演会も今年で７回を迎えました。今回は、大学客員教授や日本ユネスコ協会連盟理事を務めるかたわら、ライフスタイル・プロデューサーとしてご活躍の、フランソワーズ・モレシャンさんに「国際交流と文化比較」と題し、文化の違いのおもしろさやご自身の経験からみた国際交流についてお話していただきました。

<フランソワーズ･モレシャン氏>

I LOVE KAKOGAWA

～在住外国人紹介のページ～

今回は加古川市に在住のブラジル・クリチーバ出身のご家族にお話をうかがいます。

熊田さんご一家

父　熊田・ジョージ・林作さん
ブラジル・アサイ生まれ
日系2世／来日6年

母　熊田・マリア・重子さん
ブラジル・アサイ生まれ
日系2世／来日4年半

長女（中学1年）
熊田・アンジェラ・智恵美さん
ブラジル・クリチーバ生まれ
中学ではソフトボール部に所属

次女（小学6年）
熊田・サブリーナ・真由美さん
ブラジル・クリチーバ生まれ
好きな科目は家庭科

長男（中学2年）
熊田・マルセル・英治さん
ブラジル・クリチーバ生まれ
中学では柔道部に所属し大会で何度か優勝

Q はじめに日本の印象をお聞かせください

A 父：ブラジルで学校や両親から学び、イメージしてきた日本と同じでした。ゴミ捨て場の掃除当番や毎朝通学時の立当番は日本人ならではだと感心しました。

子供達：安全でいい所。ずっと住みたいと思います。

Q 日本語はどのようにして覚えましたか

A 父・母：両親が日本人のため、ブラジルでも普段は日本語で生活していました。

子供達：単語程度しかわからなかったため、来日してから国際交流協会の日本語講座で学びました。来日１年半ですが、学校で友達と話すので早く習得できました。

Q どこか日本を旅行したことはありますか？

A 父：日帰りですが、皆で何度か京都を訪れました。最近は妻と私は仕事が忙しく、子供達は学校でなかなか皆がそろって旅行できることが少ないです。

Q 日本で困ったことはありますか

A 父：子供達が来日する時、日本ではいじめ問題等があると聞いていたので心配していましたが、学校にもすぐに慣れて安心しています。

母：料理する時に調味料がブラジルとは違うので、味付けが難しく今でも慣れません。でも、ブラジルと違って日本のスーパーでは、食材がパックに切り分けて売っているのでとても便利に思います。

Q ブラジルと日本の大きな違いは

A 父・母：ブラジルでは、家族のことを一番に考えますが、日本では仕事が生活のほとんどを占め、プライベートの時間が少ないように思います。

Q 加古川市の印象は

A 父：外国人のためのセンターがあったり、ボランティアで日本語を教えてくれたり、とてもあたたかい人達が多いなと思いました。

母：ちょっと田舎ですが、慣れたら住みやすい町だと思います。

Q 加古川のみなさんへメッセージを

A 家族全員：外国から来た私達をあたたかく受け入れてくれていることに感謝しています。

どうもありがとうございました。

（談）　ブラジルのマリンガ市と加古川市は28年前から姉妹都市として交流が盛んに行われていますが、私たちにはまだまだ馴染みが少ないかもしれません。まずは熊田さんご一家のような加古川市在住の人々を通して、草の根国際交流を始めてみませんか。

加古川市国際交流センター紹介

会議室利用について

多目的ホールや展示室、各会議室が利用出来ます。集会や勉強会にお使いください。事前に申込みが必要です。

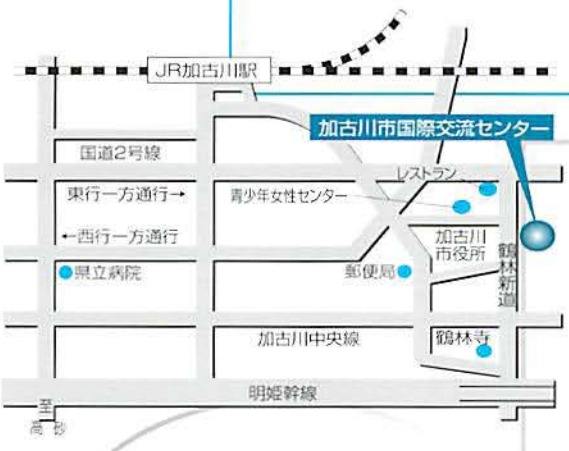
使用料

1.基本使用料

区分	使用区分 午前 午前9時から正午まで	午後 午後1時から午後5時まで	夜間 午後6時から午後9時まで
201号室	1,900円	2,300円	2,700円
301号室	1,500円	1,800円	2,100円
302号室	700円	1,000円	1,300円
展示室	1日につき 5,000円		
和室付多目的ホール	1,700円	2,100円	2,500円

2.使用者が入場料その他これに類するものを徴収するとき、又は商品の展示、宣伝若しくは販売に使用するときは、当該使用区分に係る基本使用料の10分の10相当額を加算する。

3.冷暖房使用期間中の使用料は、当該使用区分に係る基本使用料の10分の5相当額を加算した額とする。



4階 ●和室付き多目的ホール

和室には床の間もあり、茶道など日本的な雰囲気を楽しんでいただけます。また洋室部分には自由に椅子とテーブルを設置できますので、ミーティング、華道等多目的な利用が可能です。

3階 ●301号室（定員30名） ●302号室（定員15名） ●展示室

展示室は、落ち着いた雰囲気で作品をじっくりと観賞でき、貸ギャラリーとしてもご利用いただけます。

2階 ●協会事務所 ●201号室（定員50名）

協会事務所では、国際交流に関する図書貸し出しコーナーやパソコン利用コーナーが設置されています。

1階 ●交流サロン

姉妹都市・友好都市の物産展示販売や、海外旅行や留学に関する図書の販売、情報交換用掲示板を設置しています。

インターネット無料利用サービスについて

市民と市内にすむ外国人の国際交流活動に役立てるため、インターネット・Eメールの無料利用サービスを2月1日から開始しています。国際交流に関する情報の交換やメール交信にご利用ください。利用には事前に登録が必要です。

※Eメールの交信は、hotmailなど無料のメールアドレスを持っている方に限ります。

図書の貸し出しについて

日本語教材や姉妹都市関係の書籍を中心に、関係図書や各国のビデオ、ガイドブックなどを貸し出しています。

掲示板の利用について

営利を伴わない内容で語学、イベント、募集などのお知らせを1ヶ月掲示できます。ご希望の方は、事務所までお申しつけください。

INFORMATION

テレホンカード・古ハガキの回収

使用済みのテレホンカードやオレンジカード、古切手、外貨コインを回収しています。

ハガキは書き損じなど古いものでも結構です。集まったものは日本国際ボランティアセンターを通じて、東南アジアの復興に役立てられます。協会まで持参、もしくは郵送してください。みなさんのご協力をお願いします。

ボランティア募集

協会の事業をお手伝いしてくださるボランティアを募集しています。

①語学ボランティア
各種交流事業での通訳、ガイド及び翻訳

②各種サービスボランティア
日本文化の紹介、外国人への日本語指導など

③ホームステイボランティア
外国人のホームステイ受け入れ

賛助会員募集

協会では、毎年国際交流活動や外国人の受け入れ事業など、各種事業をご支援くださる賛助会員の募集をしております。
会費は事業費の一部として活用させていただきます。

●年会費
個人　1口　2,000円
団体　1口　5,000円
法人　1口　10,000円

●申込書
協会事務所、市役所案内などにあります。
詳しくは協会まで。

＊会員には、指定旅行社の優待割引制度などの特典があります。

年間スケジュール（予定）

月	予　　定
4	外国人のための日本語講座開講
	ワイタケレ市学生訪問団受け入れ
5	語学講座開講
6	青少年海外派遣団員募集
7	ふれあいティータイム
	青少年海外派遣団事前研修
8	加古川市青年海外派遣（ブラジル）
	加古川市中学生海外派遣（ニュージーランド）
9	ふれあい国際料理講座開講
10	国際協力セミナー
12	障害者海外派遣団員募集
1	マリンガ市青年海外派遣団受け入れ
	日本語教育ボランティア養成講座開講
2	加古川市障害者海外派遣（ニュージーランド）
3	市民国際交流講演会

モンゴル寒害支援ご協力のお礼

「広報かこがわ2月号」でお願いしましたモンゴルへの支援物資の提供につきまして、市民の皆様より防寒着や毛布等約360点が集まりました。これらはアジア・アフリカ環境協力センターを通じて、モンゴルの寒害被災地へ届けられます。ご協力ありがとうございました。

※なお、物資の受付は、2月末をもって終了しました。

2001年3月発行
(財)加古川市国際交流協会
〒675-0017
加古川市野口町良野387-1
TEL 0794-25-1166
FAX 0794-25-0200
E-mail kia@city.kakogawa.hyogo.jp

編集後記

加古川市国際交流センターがオープンしてから、はや一年が経とうとしています。利用者の数も徐々に増えてきましたが、より一層多くの人に利用していただけるよう、これからも様々な事業を考えていきたいと思っています。
みなさんのご理解とご協力をお願いします。